

義捐金詐欺にご注意ください。

手口1 公的機関や、誰でも知っている団体名を装う

○過去「新潟中越地震」の際に実際行われたケース

義捐金名称	新潟県中越地震被災者義援金
義捐金受入口座	新潟県中越地震被災者支援協議会 タナカタロウ
問い合わせ先	新潟県中越地震被災者支援協議会 0120-XXXX-0000

全く架空の団体名を使用しており、電話番号もフリーダイヤルや、携帯電話番号で、住所の記載もありません。

○今回の東日本大地震で報告されているケース

Yahoo や日本赤十字社を装って電話やメールで振り込みを依頼

団体であれば団体名の口座であり、義援金受入口座が個人名義になっているようであれば、既存団体を騙ったケースの可能性が高いです。

手口2 インターネットを活用した手口

○災害支援サイトを装い銀行口座の情報などを盗む

今回も、既にフィッシングサイトと思われるホームページが作られたことが報告されています。銀行口座番号、クレジットカード番号、暗証番号などを入力してしまうと、悪用される可能性があります。

○緊急地震速報を装ったメールで悪質サイトへ勧誘

緊急地震速報を装ったメールを送信し、メールを開封すると出会い系サイトに誘導する悪質な迷惑メールが出回っています。メールを開封する際や、添付されたリンク先など確認する際は、送信元を確認してから行ってください。知らないサイトにはアクセスしないことも大切です。

様々な手口で近づいてきます

【義捐金詐欺以外の手口】

○便乗商法

- ・行政からの補助金が出ると言って訪問し、壊れた家屋や壁の修理契約を勧誘
- ・「被災地に送るためにボランティアで古い布団を集めている」と訪問し、布団を寄付した人に「いい布団なので、もったいない。打ち直しをしたほうがいい」と高額な布団のリフォームを勧誘
- ・東京ガスを名乗り、点検・復旧作業をと称して、高額な費用を請求

○保証金詐欺

- ・家屋の補修費、当面の生活費などを貸し出すので返済保証金を入金してくれと保証金名目で入金させるが、貸し出しは実行されない

【今回 実際に起きている事例】

- ① 3月14日70歳の高齢者宅に女の声で「東北地方が大変なことになっています。使っていない指輪や古い物を提供してください」と貴金属寄付を求める電話があった。（福岡県豊前市）
- ② 3月15日「収益を義援金に充てる」として、貴金属の提供を求める男女4人組が複数の住宅を訪問。（北海道佐呂間町）
- ③ 3月11日に「金融庁の依頼を受けた」と寄付金振り込みを求める電話があった。（北海道苫小牧市）

被害に合わない為には、まずは落ち着いて、どのような団体なのか、相手の所属の有無などを確認することが大切です。